

星屑

Nov. '03

No. 344



熊本県民天文台

9/20 第15回「星空の街・あおぞらの街」全国大会で 環境大臣賞を受賞しました

「星空の見えるまちづくり」は高い評価を受けています。みんなで光害対策を推進しましょう!



「星空の街・あおぞらの街」全国大会

9月19日(土)、20日(日)の2日間にわたって、静岡県浜松市のアクティシティ浜松を会場に、第15回「星空の街・あおぞらの街」全国大会が開催され、県民天文台からは私(艶島)が参加しました。

この大会は、環境省が大気環境保全を推進するため毎年各地を持ち回りで開催しており、主催は「星空の街・あおぞらの街」全国協議会で、各都道府県や市町村併せて300以上の自治体が参加しています。

環境省は、大気環境を示すバロメーターとして「星空の見える方」に注目しており、星空の継続観察「スターウォッチング」に取り組ん

できました。例年の表彰は、このスターウォッチングや光害対策に熱心に取り組んできた団体や個人を表彰するものだったのです。

19日はワークショップ

大会初日の19日は、音・かおり・光に関する環境問題のワークショップが開催されました。浜松市は、生活環境の保全のために「音・かおり・光」に関する条例の制定を目指していて、騒音や悪臭そして光害について市民を交えた取り組みを展開しており、1年がかりで進めてきたそれらの検討結果をひまえ、様々な発表があり、熱心な討議が繰り広げられました。中でも、光害の分科会には200名を超える参加者があり、全国各地の自治体で関心が高まっていることを感じました。

光害分科会では、上方光束ゼロの街路灯の開発に熱心な岩崎電気の部長さんが座長を務められ、岡山県の担当者、国際ダークスカイ協会(IDA)の内田さん、そして浜松ホトニクスからの合計4人のスピーカーがそれぞれの立場から光の持つ功罪や光関連技術の将来像、光害対策の重要性などについて問題提起し、会場からの質疑を交えて、予定時間いっぱい



討論が繰り広げられました。

開会の挨拶に始まり、多くの自治体関係者が、「光害対策への取り組みは急務であり、しかも地域住民の主体的な参加無しにはうまく推進できない」、「地域での合意形成のためにどうすれば良いか、行動プランの策定が重要だ」という趣旨の発言を繰り返しておられたのがとても印象的でした。

質疑・応答

私も質問をして、行政側が市民との連携について具体的なプランを持っているのかを聞き出そうとしたのですが、行政側の不備を追求したと誤解され、はぐらかされてしまいました。（質問の仕方がまずかったかなあ）

照明器具メーカーにも一層の製品開発努力をお願いしました。答えは少し歯切れが悪く感じたのですが、照明器具の販売店や照明設計者の側に「障害光」や「光害」についての認識が乏しく、すぐれた製品はあってもその利用が十分には進んでいない現状について、メーカーや業界としても啓発を進める必要があると述べられたのには、「なるほど」と思いました。まだまだ「光害」の啓発は充分ではなく、私たちが果たすべき役割は大きいのです。

IDAの内田さんは、当日会場で配付された資料の中に、（社）照明工業会発行の「障害光低減のための屋外照明機器の使い方ガイド」があることを指摘されました。内容の一部に問題が残っている部分があるが、以前のものとは比べると大幅に改善されており、このようなガイドラインが早く浸透するように、業界を上げて努力して欲しいと要請されました。

このように活発な討議が続き、予定時間いっぱいワークショップが展開されました。「例年になく具体的で真剣な討議だった、光害対策の広がりや進展を感じる」と内田氏は総括しておられました。



大勢が参加した歓迎レセプション

19日夜の歓迎レセプション

ワークショップの終了後、夕方から、歓迎レセプションが始まりました。大きな宴会場で立食パーティーです。ここで、各地から招待された受賞者の方々にお目にかかり、しばらく談笑しました。今回、私たちと一緒に各賞を受賞されるのは、環境大臣賞（個人賞）愛知県半田市の科学館の学芸員 林 秀美さん、協議会会長賞（団体の部）福井県のOYATTO天文クラブの方々、そして、協議会会長賞（個人の部）は県民天文台とはなじみの深い白河天文同好会の小椋栄一さんです。

OYATTO天文クラブからは会長さん他数名の方々がレセプションに参加しておられ、受賞の喜びいっぱいの様子でした。

しばらくして、環境省の大気環境担当の方々や（財）日本環境協会の方々とお話をする機会に恵まれました。談笑するうち、今回の受賞について舞台裏の話題に接することができました。その内容はこうです。

「多くの団体や個人が、毎年受賞候補としてノミネートされながら惜しいところで受賞をのがし、『順番待ち』みたいな状態なのに、熊本県民天文台は今年突然名前が挙がってきた」 しかも、「熊本県民天文台を指名した推薦者が複数いて、審査会では満場一致で環境大臣賞に選ばれた。」 「こんな選ばれ方をした受賞者はこれまでになく、異例です！」

「長年のボランティア活動は大変だと思うが、他の団体に比べ多彩な活動を繰り広げているように見える、その秘訣は何か？」

「いろいろ噂を聞いていたが、予想していたのとはずいぶん雰囲気が違うなあ？」などなど。城南町を始め、地域の人たちと連携した活動への評価は、一緒に取り組んできた全ての方々へ賛辞でもあり、嬉しかったです。

夜は屋上で観望会

レセプション終了後、会場のビルの屋上へ出てみんなで天体観望会。最接近中の火星などを楽しみました。日頃都会暮らしの方々には貴重な機会であつたらしく、肉眼では1等星くらいしか見えない駅前の1等地で、望遠鏡に列を作り、M天体なども楽しんでおられました。浜松天文協会の方々、自前の機材をふんだんに準備、パワフルなところを見せておられました。わたしは、持参したノートPCをひろげ、しばし、光害啓発の電子紙芝居などをご披露。「えー！」これパワーポイントなの??？」という声に大満足でした。

20日、全国大会と表彰式

前夜遅くまで、今後の光害対策をどう進めるか意見交換をしていましたが、20日は珍しく早朝に起床しました。何しろ、朝7時45分から大会会場で表彰式のリハーサルが始まるのです。事前に予想していたよりもかなり大がかりな大会のようです。



大会会場の中ホール、正面がパイプオルガン

受賞理由

「熊本県民天文台」は、1982年の開設から20年以上にわたる地域活動を通じて、大気保全への啓発に務め、特に光環境保全について積極的な活動を行っている。

1968年に「熊本天文研究会」として設立。天体観望会支援などのボランティア活動を経て、1982年に城南町藤山に「熊本県民天文台」を開設。1993年に塚原古墳公園内に移転。週の数日に一般公開を行っている。開設当初は「同好会」であつたが、2002年に20周年を迎えたところで「法人化」をはかる。一般公開の継続的な推進、「星空の見えるまちづくり」の推進、「電子紙芝居」を使った天文教育・社会教育の推進など、より一層の発展を目指すため、今年、NPO法人となる。

光環境については、光害防止の観点から(1)屋外照明実態調査、(2)照明についての問題点の把握、(3)光害の解決策の検討を行ってきた。城南町、町づくり団体や地元ロータリークラブ、更に照明器具メーカーと協力して、光害対策ガイドラインに沿う照明器具の選択や設置を実践している。

大会会場は、アクトシティ浜松の中ホール。定員1,000人ぐらゐの演劇ホールです。正面の壁には立派なパイプオルガンが設置されているではありませんか！ さすが、YAMAHAに代表される楽器や音楽の街浜松です。

式典には高円宮妃殿下も臨席されるというので、リハーサルを指揮する会場担当者もいささか緊張の面持ち、授賞式の流れの説明や演壇への上がり方、整列する順序や位置、礼をする方向や順番など、次々と指示があり私たちはリハーサルを繰り返しました。やがて会場に人が入り始め、われわれ受賞者にも次第に緊張が高まっています。



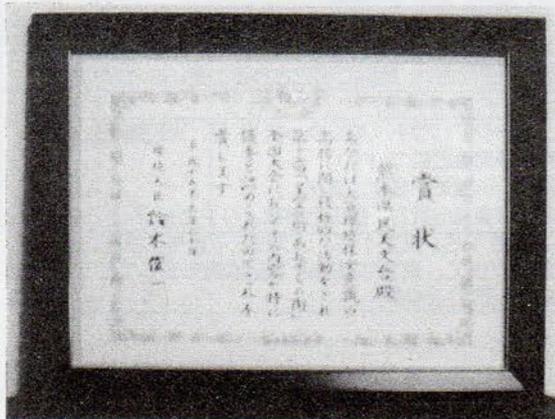
左から 詭島、林、のびのびクラム、小椋

大会式典は、パイプオルガンの演奏で始まりました。大きく響く音や繊細な音、巧みな演奏にしばらく身体中で聞き入っていました。続いて、開会挨拶などがあり、それから表彰式です。

司会者から受賞者の名前が告げられました。続いて、受賞理由の紹介です。ステージ両脇に設置された特大サイズのスクリーンに受賞団体名や氏名が表示されたあと、受賞理由も表示され紹介されました。

いよいよです。イス席最前列に並んで座っていた受賞が1人1人名前を呼ばれ、立ち上がって会場に紹介されます。それから、促されてステージ上へ。ステージ中央奥には高円宮妃殿下が着席しておられ、最前列のステージ前で環境省の事務次官から賞状と副賞が手渡されました。大臣賞（団体賞）の熊本県民天文台が最初でした。

全員に賞状が渡されたあと、受賞者を代表して私が謝辞を述べました。



ステージでは、高校生による演劇が

多彩な大会行事

表彰式のあと、ステージ上では多彩な大会行事が繰り広げられました。高校生による環境問題をテーマにした演劇、中学生による環境問題についての総合学習成果発表、シンポジウムなどです。このようにして、20日お昼過ぎ、第15回「星空の街・あおぞらの街」全国大会は成功裏に終了しました。

光害防止オフネット集会 から 全国へ

大会終了後、お祝いに駆けつけてくださった豊橋市の鈴木さん（光害防止メーリングリスト参加者）やIDAの内田さんとのオフネットミーティング。せっかくの機会だし、3人だけではもったいないと、急遽呼びかけして、各地からの受賞者の方々や浜松天文協会のメンバー数人にも参加して頂き、光害防止オフネット集会が始まりました。

居酒屋ふうのレストランで、バイキング形式の昼食をとりながら、光害への取り組みを一層促進するにはどうすれば良いか、しばし、熱心な話し合いが繰り広げられました。

私は、**上方光束ゼロ防犯灯のデモ機提供プロジェクト**を始めたい考えを表明し、各地での参加・支援を訴えました。

浜松でも、ウミガメの産卵への障害やホルタルの減少など身近な光害の再認識と、自然環境保全に取り組む市民団体との連携の必要性に気づいて頂けるなど、ミーティングは大きな成果を上げたと思います。

今回の受賞をきっかけに、熊本方式の光害対策の環が全国に広がると期待しています。

9月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 12日/12日=100.0% 一般来台者数 951名 会員来台 86名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
1日 (月)	晴	鮎田東小 4名	Juro, Tsu, ヒゲ、松本 (「サ クの番人?」)	火星を見たあと、宴会に! (Tsu)
3日 (水)	晴	3名	Tsu, 松本、 立川	知りあいの方が夫婦+1名で来台。火星と半月を見て帰られました。大喜びだった! 後から立川氏がC-8を借用に来台。9/5(金) 桜木保育園で観望会を実施するそうです。(Tsu) 火星が驚くほどよく見える。23hすぎに気流が安定スル。DVで撮影。池上で撮影した写真を置いていきます。(有馬) 立川、有馬
4日 (木)	晴	鹿釜家族 3 名+8名	中尾の、鹿釜、小 林J, Tsu	月と火星。今日も電話多数! 「一般公開は金・土・日です」とお断りする。週末はたぶん多いでしょう…。(Tsu) 火星撮影。J (慧星、久しぶり!)、Tsu、中尾の
5日 (金)	晴	112名 出張観望会。 熊本市花立 のさくらぎ 保育園にて、 84名の参加 あり。	小林J、松野、中 尾T、西嶋、鹿釜、 中島、鮎島	火星、月。かなりゆらゆら。途中曇りがかかって順番待ちの列ができた。とにかくにぎわった! 募金多数。新入会員1名。入ろうかなあー(?) という人2名…。(西嶋) 出張観望会(さくらぎ保育園)では初めての望遠鏡での月に感動する園児、火星の姿を望遠鏡で観て大声で喜び者多数あり。5、6才の子供は見て感動して体で表現するのが多い。大接近の火星を体験し、職員、保護者共々大満足だった様です。(立川)
6日 (土)	晴	226名 (城南町ミ ッキーサー クル 40名 含む)	中島、高田、中尾 の、鹿釜、(鮎島、 西嶋、小林J、小 林M)	火星。大変でしたね! いつまでつづく火星フィーバー!? ちょっと疲れてきましたよ! 火星の写真撮影に行列ができた!! みんな自分のカメラに火星を収めたいと必死だった。西嶋さんの写りが目をひいた。中尾(の)君の連射+Registax もいい結果が出てくれそうです!! (中島) 安達 etc.
7日 (日)	曇時々晴	18名+5名 (あきらめ て帰った人)	鮎島、中島、小林 M、高田	火星、月。最初は曇っていたが、後で晴れ間が広がり楽しめた。(高田)
8日 (月)	くもり	なし	Tsu	今夜はフェスタ宇土店がサーチライトを投光中止した記念すべき夜です。宇土まで証拠写真を撮りに行ってきました。間違いないで消えていました。又、城南町の都市計画基本計画の策定についての口述申込書を提出に宇城地域振興局まで行って来ました(光害防止を求めて)。公聴会は9/12(金)夜の予定です。(Tsu)
9日 (火)	曇/少し 晴	なし	鮎島、小林J、中 島、高田、鹿釜	火星が月に大接近。雲がなければよかったのに…(鹿釜) 鮎島、中島、高田、小林J、鹿釜
12日 (金)	台風		Tsu	「城南都市計画マスタープラン」公聴会へ行き公述人として光害防止ガイドラインを策定するよう求める意見を述べてきました。提言が採用され、計画に明記されると良いなと思います!(Tsu)
13日 (土)	はれ	56名 若葉小 40 名	中島、鹿釜、西嶋、 中尾の	月、火星。トークアバウト(忙しかった8月、光害関連ニュース、9月の予定などについて) 鮎島、小林J、小林M、松本、霧永 熊日子ども特派員来台取材。隈庄小学校より子ども7名、保護者1名、記者1名、先生1名。天文台より鮎島、中島。いろいろな質問が出て、最後は観測室で記念撮影をして終了。(11月頃掲載予定)(中島)

14日 (日)	はれ	115名	艶島、中島、小林 M、松本、中尾 (寛)、高田	火星、月(高田)
15日 (月)	くもり	10名	Tsu、鹿釜、松本	火星。族群のシーイング。火星がピタリ止まって見えている。しかし、雲が…。雲を通してアリンの爪が見えている。デジカムでむりやり撮影したが(2秒露出)ビデオでは無理だった。電話はいっぱいかかって来たけど、来台者は10人だった。(Tsu)
16日 (火)	晴	4名 鮑田中観望 会40名	Tsu	屋間、城南中1年生4名。総合学習の時間。「光害」と「防犯灯について」調査活動(Tsu) 鮑田中学校観測会(その1)40名ほど。火星。くもったけれどもなんとか見えた。(中島)
17日 (水)	くもり/ はれ	100名		鮑田中学校観測会(その2)火星。雲のすき間から見えた。100名。熊大の佐藤先生も一緒でした。(中島)
18日 (木)	はれ			今季最高のシーイングで火星のディテールを観る。記録としてデジタルビデオに納める。雨中時の火星素晴らしいの一言につきる。会員との語らいを楽しみにやって来たが、誰も来ない。残念。(立川) 有馬、立川
19日 (金)	晴れのち どん曇り	37名	中島、松野、しか ま、西嶋、小林J、 松本、山田ひ、立 川	松崎町12区家庭教育学級35名、カップル1組 火星、プロジェクター解説(中島) 夏の三角形を説明しながら火星を見たあと、とたんに曇り、しかたなくステラで臨時プラネタリウムを…でも音がとんでました。パソコン買い換えた方がいいんじゃないか…という話も。(西嶋)
20日 (土)	曇時々晴	無	中島、中尾の、松 本	台風の影響で風が強く、火星ゆらゆらゆらり。くもる事が多く、本日も「くも男」と呼ばれてしまった。 ※サーチライトの特集号(星屋343号)を1部頂きたいとの事。島原市の方でも問題になってきているので参考にしたいので宜しくお願いしますとの事。(9/21AM10:30 Tel有り) 無い場合、コピーでもOKとのことでした。(松本)
21日 (日)	快晴	37人	艶島、小林M、高 田	M6、M20、M7、M8、M22、M31、M2、h-x星団、火星、シルチス(高田) 小林J
22日 (月)	はれ/ くもり	4名	艶島、中島、 小林J、中尾 TOMMY、中尾の	火星。双眼鏡でM31、M57、すばる 溝にスタック。火星を撮りに来て、加勢をしてもらいました…。(中尾の)
26日 (金)	晴	10名(ファミ リ-2組、 ペア1組+ 1名)	小林J、西嶋、艶 島	火星、アンタレス、M22、M57、ベガ、ダブルダブル、M31 後半来られたご夫婦は大変熱心な方方でリピーターです。ゆっくり火星を見られると喜んでおられました。あまりうれしそうなので、思わず大サービスを…(募金もいただきました！)(西嶋) 屋間、朝日新聞から取材。環境大臣賞受賞の件(Tsu)
27日 (土)	はれ	13名	中島、中尾の、松 本、鹿釜	火星、M22、M8、M31、アンドロメダ、M13、ベガ、M57 久々に星雲・星団を見ました。うつくしい！(中尾の)
28日 (日)	快晴	20人	艶島、小林M、高 田	火星、M22、フォーマルハウト、ベガ(高田) 小林J
29日 (月)	晴	2名	Tsu+山田R	屋間、熊大教育学部の木村助教授と青年劇場の本田さんが来台。来月18日に県立劇場で上演する「ケブラー・あこがれの星海航路」について説明と紹介依頼がありました。天文学者の生きざまに焦点を合わせたユニークな演劇のようです。皆さんいかがですか？(Tsu)

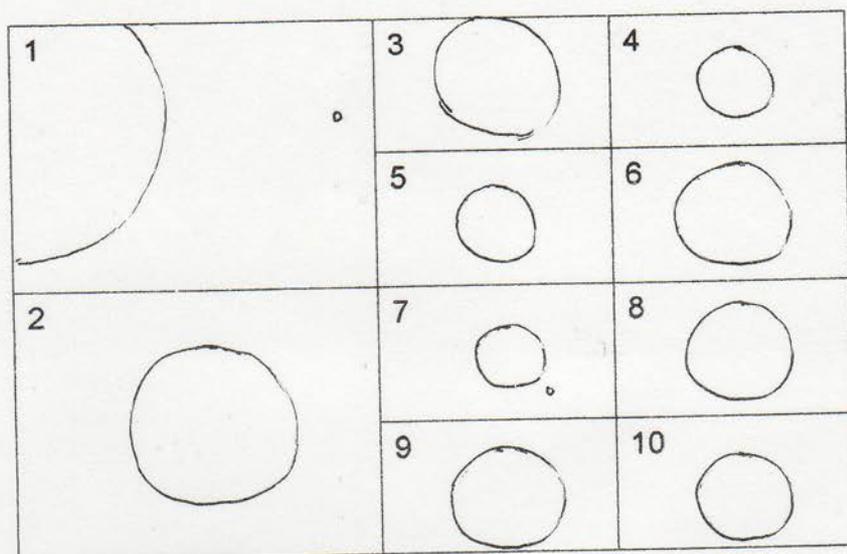
罰でも当たったのかと思うほど、8月後半は暑かったですねえ。いや9月も参りましたけど。熊本では9月17日に、この秋初めて最低気温が20℃を下回りました。今はだいたい湿度も少なく、とっても過ごしやすくなり、でも日中はまだまだ暑かったりして寒暖の差が大きく体調崩しやすくなります。注意して下さいね。さて、火星も段々遠ざかっていますが、天文台ではまだまだよ〜く見えます。秋の夜長にもう一度、去りゆく火星を見に来ませんか。この時期の天文台は、日中暑くても夜は冷え冷え！な〜んて事もしょっちゅうありますので、上着一枚余分に持参された方が良いでしょう。

☆ 11月の天文現象 & 行事 ☆

- 1日(土) 上弦(13:25)りゅう座γが極大(周期427日 6.2~15.0等)
- 3日(月) おうし座流星群の南群が極大
- 8日(土) 立冬(りっとう…冬の始まりで、これより次第に冷気深くなる)
- 9日(日) 満月(10:13)アフリカ・ヨーロッパ方面で皆既月食
- 11日(火) はくちょう座RTが極大(周期190日 6.0~13.1等)
- 12日(水) さんかく座Rが極大(周期267日 5.4~12.6等)
- 13日(木) おうし座流星群の北群が極大
- 15日(土) トークアバウト(天文台にて)
- 17日(月) 下弦(13:15)
- 18日(火) しし座流星群が極大
- 21日(金) オリオン座Uが極大(周期368日 4.8~13.0等)
- 23日(日) 小雪(しょうせつ…寒気つりの、雨凍って雪となるという意味)
- 24日(月) 新月(07:59)南極で皆既日食
- 25日(火) 土星が8.3等の恒星を隠すのが見られる(19:45頃~23:10位)
ペガスス座Uが極大(周期378日 6.9~13.8等)
- 28日(金) ペガスス座Sが極大(周期319日 6.9~13.8等)

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2003年11月号 通巻344号
 発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
 熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
 TEL 0964-28-6060
 振替口座 01980-0-24463
 NPO熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作
 ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>

2003 星屑 11 月号 付録 火星写真データ



1: 高田 氏
2003/09/09

2, 9: 影山 氏
BJ-30C+ビクセンVISAC+Or18mm、
またはPL-10mm
16枚コンポジット、ステライメージとPhotoshop
で処理。大気プリズム効果による青色ずれを
補正。

3: 工藤 氏
2003/08/24
2枚コンポジット、トーンカーブ調整

4: 鹿釜 氏
2003/09/06 3:17:46
FinePix2900Z
シャッタースピード: 1/60
F: 3.4
露出 1/25 750枚を Registax2 にて処理。

5: 西嶋 氏
2003/09/06

6: 中島 氏
2003/09/06
41Cm XP14mm ToUcam

7: 仲山 氏
2003/09/09

8: 中尾の 氏
カシオ QV-4000 1/30 F2
2003/09/14 0:08
Registax2 にて 32枚スタック

10: 有馬 氏
2003年09月24日24時13分
FS152 LV4 ミリ ToUcam にて